

# 保健所実習を終えて

大食 3 花 谷 淑

夏もいよいよ暑くなりかけた1週間、京都のほゞ中心に位する中京保健所で 栄養実習を行つた。市役所のすぐ隣の古い建物。一步足を入れると 保健所や病院の あれ一種独特の陰気さと、臭気がたゞよい、それは 私には縁遠いもの、とても 青春の日々を送れるような所ではない という今までのイメージと、一分の隔りもなかつた。しかし、驚いたことに、それから1週間後、それまで 寮食堂や 工場給食の実習で 少々失望していた私に、「もし私が栄養士になるなら、保健所の栄養士になりたい。」と思わせるようになっていた。

そこで、この実習で感じたことを 2, 3記してみると、第1に、保健所が もともと国民の健康管理を業務としているからでもあるが、私達の実習に非常に協力的で、熱意をもつて指導して下さつたことである。それだけ、保健所に於る栄養士の仕事は 重要で責任があり、職員全体が関心を持ち、支持しているということではないだろうか。各分野の方々が それぞれの立場から 熱心に講義され、見学、スライドなど 興味深い事も多く、又実際面では 管内の一般主婦の栄養講習会、乳幼児クリニックに於る栄養指導、離乳食の進め方など きびしく指導され、私達は 少々まごついた始末。

第2に、保健所の栄養士は、市民の栄養指導の頂点に立ち、直接 栄養行政を行つているのであるから、非常に働き甲斐があるが、もし私達が それにならうとする場合、相当の覚悟と 実力を必要とすることを痛感した。この栄養士さんが 私達の先輩で、これまでの体験談、これからの栄養士の地位、管理栄養士のことなど お話しをお聞きし、ここに大先輩ありと うれしくなり、私達からも このような栄養士が出てほしいとつくづく思う。

第3に、私は 今まで保健所とは 縁遠い感じがしていた。それは私の町の保健所が 町民の栄養指導、思想普及にあまり積極的でないのではないかと、小学校も給食を行つておらず、又、私が そういうことに無関心だつたのか、とにかく、この実習で 保健所が 出来るだけ市民の栄養指導を 活発に行い、市民が 積極的に利用すれば、栄養思想の向上、健康管理に、大なる効果があるだろうと思つた。しかし、中京と山科の両保健所を か

け持ちしている現状では、今以上の活動は 不可能に思われる。

2, 3ヶ月の赤ちゃんを抱いたお母さん方の目の前で、「離乳食の進め方」を指導した時など、最後には 声もふるえる始末であつたが、栄養士さんはじめ 保健所の方々の熱意ある指導のもとに、私達は 今までの実習以上に、臨地訓練の意義があつたと、感謝しています。

## 工 場 実 習

大食3 荒木紀三子

3回生になつて1ヵ月、5月11日から1週間、工場の栄養実習として 鐘紡高野工場へ行つた。いつもの7人で工場の門をくぐつた。2回生の時、小学校、錦華寮、学生食堂と実習に行つたがやはり第1日は緊張した。ここは主として毛糸を製造している所で、働く人も私達より若い女子工員がほとんどであり、又、昼食と共に朝夕の食事も行つているので、寮生の私にとってこの二つの点からとても興味深い実習となつた。

鐘紡では昼食を全職員に、朝夕食は寮に入つている女子工員に行つているので、朝9時に私達が行くと遅番の食事中であつた。9時に実習が始まる。永谷栄養士に工場実習の注意、説明を聞く。鐘紡は集団給食を始めたのは古く、戦時中もパン焼き器などを使用して続けて来た所で、給食施設も古く、現在の食堂も昔は体育館だつたそうであるが、今まで実習して来た所に比べて広く、とても作業しやすい様に思つた。実習としては今までの実習と違い、毎日午前、午後3時間程かかつて工場給食としての献立を作製した。調理実習としては時間は割と短かつたが、大変忙しく、色々な面で勉強になつた。10時頃から私達はほとんど毎日漬物を切つていた。ここでは御飯、汁物、漬物は食卓上に置いて好きなだけ食べる様になつている訳だが、農村出身者の多い女子工員の関心は割と漬物に集まり、切り方がうすいと評判が悪いそうで、私達も普通の2倍くらいの大きさに切つていた。11時少し前から、盛り付けが始まる。ここでは炊事場と配膳室が離れているので、出来上つた食事は一応食籠に入れ、車に乗せ、配膳室まで引いて行く訳けである。これは女の